

市とゼンリンが協定結ぶ



ゼンリンと協定を結ぶ。

市では、5月8日(金)、株式会社ゼンリンと「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」を締結しました。

この締結は、東日本大震災時に被害箇所を把握するための初動対応などで、大量の地図が必要になった経緯から、災害発生時に、市災害対策本部や消防、警察などが同社の地図を自由に活用できるようにするものです。

ゼンリンと同協定を結ぶのは、

県内初。有効期限は1年間で、地図利用等の費用はゼンリン側が負担することとなっています。

提供されたのは、住宅地図やA0サイズの地図、インターネット上で見ることでできるゼットネット地図です。

大谷範雄市長は、「災害時に、どこでといった状況にあるか把握するためには、地図が必要不可欠。うまく活用していきたい」と話していました。

子どもたちを106人の目で見守る 市子ども見守り隊が発足

5月9日(土)、市内の小中学生約1900人の登下校を見守る「市子ども見守り隊」の発足式が、烏山公民館で開かれ、市や市議会、学校、警察関係者など約100人が出席しました。

同見守り隊は、106人の市民ボランティアにより構成され、市内全域で警察と連携し、子ど

もたちの安全確保に取り組みます。隊長の大谷範雄市長は、「安心安全なまちづくりのために、市民全体で子どもたちを見守っていく」と宣言しました。

今後は、児童生徒の見守り、声かけや不審者及び不審車両などを発見した場合に通報などを行います。



子どもたちの安全確保に取り組む隊員たち。

市内で事故多発… 交通安全呼びかける



ドライバーに交通安全啓発のチラシなどを配布。

那須烏山警察署 宇賀持久男署長では、本市で交通死亡事故が多発していることを受け、4月24日(金)、市役所前交差点で交通安全を呼びかけました。

当日は、警察署のほか、大谷範雄市長や交通安全協会などが協



そばまつり会場での啓発活動。

力し、信号待ちをするドライバーに交通安全啓発のチラシや啓発品などを配布しました。

宇賀持署長は、「今年度に入り市内で交通死亡事故が3件発生している。みなさんには、交通のルールを守り、安全に努めてほしい」と話していました。

5月11日(月)から20日(金)まで行われた「春の全国交通安全運動」では、早朝の街頭指導のほか、市防災行政無線で交通安全運動を周知し、交通安全の周知徹底を呼びかけました。また、16日(土)には、大桶運動公園で開かれた「そばまつり」の会場で、「交通安全特別周知活動」が行われ、来場者にチラシなどを配布し、啓発しました。

ジオパーク構想教室 ジオパークと那須烏山市周辺の岩石

市では、5月10日(月)、烏山公民館で、今年度初めてのジオパーク構想教室「ジオパークと那須



今年度初のジオパーク構想教室。

烏山市周辺の岩石」を開き、地域住民約40人が本市の自然を学びました。

当日は、「隠岐世界ジオパークについて」と題し、栃木県立博物館の河野重範さんによる講座が開かれました。隠岐ジオパークは、島根半島の北40〜80kmの日本海に点在する4つの有人島と多数の無人島によって構成されるもの。河野さんは、「単に貴重な地質資源が見られるだけではなく、何億年も続く『大地の成り立ち』、大地の上に育まれた『独自の生態系』、今日まで受け継がれてきた『人の営み』を、ひとつ

の物語として知ることができると話していました。

続いて、同博物館の岡本直人さんによる「那須烏山市周辺の岩石について」の講座が行われ、石の種類や地層などが紹介されました。岡本さんは、「その地域の岩石は、露頭を見ると分かる。川の上流と下流で異なるので面白い」と話していました。

参加した南那須中学校2年の高田虎太郎さん(田野倉は、那須烏山市には、たくさん自然がある。これからジオパークとして盛り上がってほしい」と話していました。

南那須公民館合同講座の合同開講式 合同講座で人権感覚磨く

市教育委員会では、5月15日(金)、南那須公民館で「南那須公民館講座合同開講式・合同講座」を開き、文芸教室や体づくり教室、料理教室などの受講生が参加しました。

合同開講式では、社会教育指導員から講座の特色や概要が説明されました。

続いて行われた合同講座では、

塩谷南那須教育事務所ふれあい学習課社会教育主事の葛西広行さんによる講演「磨こう人権感覚」が行われました。そのなかで、葛西さんは、「見方を変え」と、

いろんな考え方ができる。人は見た目で判断せず、いいところを探してあげることが必要」と話していました。



人権について学ぶ参加者たち。

新1年生に 交通安全人形を寄贈



教育長に人形を手渡す柳田会長(右)。

交通安全母の会(柳田京子会長)では、4月24日(金)、烏山公民館で「交通安全人形」約200体を市教育委員会に寄贈しました。

同会では、25年以上前から小学1年生が、安全に通学できるようにと会員全員で心を込めて人形作りをしています。柳田会長は、「交通安全に気をつけて元気に登下校してほしい」と話していました。

シリーズ 市の文化財

第50回

栃木県指定有形文化財

木造・薬師如来坐像(熊田)

像高42cm、ヒノキ材、寄木造

(複数の木材を組み合わせ作像する技法で作られています。制作年代は鎌倉時代と推測され、低く平らな肉髻(にづけ)・頭頂にある梳を伏せたよ



うな形の高まり)や大粒の螺髪(うねり)・髪表現などに、中国宋王朝(960〜1276)の美術様式の影響を見ることが出来ます。

また、頭部を少し前方に傾斜させた俯瞰的な像形は、高德院大仏(鎌倉大仏)などの鎌倉地方仏との関係も指摘されます。

鎌倉時代の光背や台座が全て現存する仏像は、栃木県内では本像を含めて2例しかなく、非常に貴重な仏像です。

名称応募で南一丁目の長谷川陽子さんの作品

「栃木きらめ木プロジェクト」が採用

南一丁目の長谷川陽子さんの作品「栃木きらめ木プロジェクト」が、今年度からの新たな緑化推進キャンペーンの名称に選ばれました。

同プロジェクトは、昭和37



「嬉しいです」と
長谷川さん。

年から開始された県植樹祭が、平成26年5月の上三川町で全市町の開催が一巡したこと、新たなプロジェクトにしようとする環境ふどり推進機構が企画したものです。限られた人が参加していた植樹祭からより多くの県民が携われるようなキャンペーン形式に一新するため、昨年7月に名称が募集されました。

4月18日(土)には、メインセレモニーが県庁県民広場で開かれ、福田富一知事から、宇都宮市錦小の緑の少年団代表へ「バトンの苗木」として5種類の苗木を贈呈したほか、名称の表彰が行われました。

長谷川さんは、「緑化活動をおして人が繋がり、緑が増え、キラキラと輝く栃木県をイメージしました」と笑顔で話していました。

消費者啓発活動に取り組む萩原宣子さん 消費生活の安定・向上で知事表彰

中央3丁目の萩原宣子さんが、「消費生活功労者知事表彰」を受賞しました。

萩原さんは、栃木県消費生活リダー連絡協議会烏山支部部長として、10年以上にわたり、啓発活動を積極的に



啓発活動に取り組む
萩原さん。

行っています。民生委員及び認知症連携推進委員として高齢者だけでなく認知症の人や家族に接し、関係機関につなぐ役割を果たしています。また、認知症を題材とした寸劇講座の台本原稿を検討するなど、地域の消費者啓発活動にも尽力されています。

5月15日(金)に、県総合文化センターで行われた「消費者のつどい」では、表彰式が行われた後、事例発表として、表彰

を受けた団体の中から、同協議会烏山支部が、「本市における高齢者の消費者被害防止のための連携状況」について発表したほか、「軽度認知症について知ってつけ」と題した寸劇を披露しました。

萩原さんは、「少しでも消費者被害を減らしていきたい。これからは、自ら外へ出ることでできない高齢者の見守りをしていきたい」と話していました。

受章おめでとうございます

春の叙勲で市内3人が受章

■旭日小綬章 水上正治さん(志鳥)

志鳥の水上正治さんが、市議会議員として15年間にわたり、議会の構成員として活躍された功績に対し、旭日小綬章を受章しました。

平成11年に旧南那須町の議員に就任した水上さん。合併後は、副議



水上さん。

長や議長を務め、合併直後の調整役として議会運営を円滑に進めました。特に、国道293号道路整備においては、地域の意見などを傾聴し、市民運動に尽力されました。また、24年から26年までは、南那須地区広域行政事務組合議会の議長として活躍されました。

水上さんは、「15年間務めることができたのは、議員の仲間や家族地域の人々のおかげ。感謝したい」と話していました。

■瑞宝双光章 池田賢勇さん(鴻野山)

鴻野山の池田賢勇さんが、保護司としての功績に対し、瑞宝双光章を受章しました。

池田さんは、教職員として県内の学校に勤める傍ら、昭和59年から南那須保護区保護司会に入会し、



池田さん。

30年以上、保護観察や犯罪予防などの更生保護諸活動に努め、現在も活躍されています。また、黒羽刑務所や喜連川社会復帰促進センターで教誨師として、受刑者に向けて宗教心を伝え心情的安定を図る取り組みを行ってきました。

保護司の定年まで4年という池田さん。「今回の受章は、保護司会の仲間の勲章でもある。これからも見守る姿勢を忘れず、再犯を防いでいきたい」と話していました。

当番町「元田町」

山あげ祭の準備着々と

7月24日(金)から26日(日)まで開催される、「山あげ祭」に向け、今年の当番町「元田町」の若衆が着々と準備を進めています。



舞台装置を補修する若衆たち。



はりか山に絵を描く中村さん。

ます。

準備会場の山あげ烏章館では、同町の若衆を中心に地元自治会会員の協力を得ながら

2月上旬から「はりか山」の和紙の貼り換えなどが開始。4月下旬から5月下旬までは、

元田町で画家の中村勝之さんによって、山に絵を描き入れる作業が行われました。

本番に向けて、筆頭世話人の松本和明さんは、「今回は、新たに『乗合船』という演目を行うので、みなさんには楽しんでもらいたい」と話していました。

埼玉県古川靖史さんが写真集など寄贈山あげ祭追いつけて30年

埼玉県朝霞市の古川靖史さんが、30年以上にわたり取材し続けた山あげ祭の写真や動画を市に寄贈しました。

古川さんは、大学生の頃、山あげ祭と出会い、伝統ある祭に興味を持ち、それから祭の様子を写真や動画に収めてきました。今回寄贈したのは、自費出版したB6版で1000ページにもわたる写真集6冊と、約90分に映像をまとめた

ブルーレイディスク20枚。写真集などは、今年、当番町の元田町を撮影すれば6町全部が完成するといえます。

この活動について、古川さんは、「伝統ある祭を記録することに意味がある。好きで初めて気づいたら30年でした」と笑顔で話していました。また、寄贈を受けて国井豊副市長は、「ユニスコ登録に向けて、山あげ祭をPRするために、



国井副市長に写真集などを手渡す古川さん。

観光施設で映像を放映するなど、有効に活用していきたい」と謝辞を述べました。

■瑞宝双光章 関谷孝さん(野上)

野上の関谷孝さんが、教員として永年にわたり本市の教育力の向上に携わってきたとし、瑞宝双光章を受章しました。

関谷さんは、昭和34年に母校である烏山中に赴任後、境中、馬頭中、南那須教育事務所に配属されまし



関谷さん。

た。平成元年には、108年の歴史を閉じる大木須小の校長、翌年には新たに開校した東小の校長、そして烏山中の校長として高い見識で学校運営に尽力されました。また、南那須教育事務所の事務所に就任するなど、教育の分野で活躍されました。

教員時代は、数学を教えていたという関谷さん。「人間関係にとても恵まれていた。当時の子どもたちや先生たちとの出会いをいつまでも大切にしたい」と話していました。

広聴箱に意見をお寄せください

市では、市民のみなさんご意見を市政に反映させるために「広聴箱」を設けています。主要な公共施設に設置する他、市のホームページでも受け付けています。お寄せいただいたご意見・ご要望は、貴重なご意見として、今後の施策や事業展開の参考とさせていただきます。

また、回答を希望される場合は、原則として受信日から2週間以内に担当課が責任をもって回答いたします。

■設置場所

市役所烏山庁舎・市役所南那須庁舎・健康福祉センター・烏山公民館
■那須烏山市ホームページ
<http://www.city.nasukasuyama.lg.jp/>

※市ホームページの「広聴箱」入力フォームには、右記からお入りください。電子メールで送信する方法です。回答を希望される場合には、電子メールで返信いたします。

□総合政策課 ☎0287-183-1112

子どもたちが 農業体験

鳥山小2年生・園児 サツマの苗植え体験

鳥山小2年生の児童69人が、5月12日(火)、神長の畑でサツマイモの苗植えをしました。

作物を作る大切さや自然と共に生きる喜びなどを感じてもらおうと、神長ポテトクラブ(齋藤照雄代表)の協力で毎年行われているものです。

当日は、土にかぶせられた黒いビニールに、割り箸を上手に使いながらサツマイモの苗を丁寧に植えました。そのほか、土の中にできる食物の話などが行われ、児童た



ちは興味津々な様子で耳を傾けていました。



市青少年クラブ協議会(船山瑛子代表)では、農業を身近に感じてもらうと、毎年、園児にサツマイモの苗植えの指導をしています。

5月11日(月)には、つくし幼稚園の年長組の園児44人、18日(月)には、にこにこ保育園の年長組の園児30人が、同協議会会員の大野博康さん(大桶)の畑で苗植えに挑戦しました。

園児たちは、同協議会の会員や先生に教えてもらいながら、慣れない手つきで苗を一生懸命に植えていました。

次に園児が畑に来るのは10月。



それまで同協議会に苗を大切に育ててもらいます。園児たちは、「サツマイモ掘りが楽しみ」と口々にし、笑みを見せていました。

鳥山小5年生が 米作りを学ぶ

5月11日(月)、鳥山小5年生の児童89人が神長の岡崎新一さんの水田で田植え体験をしました。

これは、総合的な学習の時間「米物語」の一環で、田植えを通して稲の生育や米作りの大変さなどを体験しようとして、米物語神長協賛会(大野英夫会長)に指導してもらい毎年行われているものです。

当日は、約5アールの水田に約9500株の苗が植えられました。



ほとんどの児童が始めての田植えだったということもあり、バランスを崩して転んでしまう児童もちらほら。足場の悪さに悪戦苦闘しながらも泥だらけで苗を植える様子が見られました。

今後、7月には、育った稲の観覧会、10月には、稲刈りや脱穀体験が行われる予定です。

五穀豊穡を祈願 イセヒカリ田植え体験

志鳥の滝口良一さんの水田で、5月24日(日)、栃木県青年神職むすび会(柳田耕史会長)と県神社庁教化委員会(小林靖委員長)が、宇都宮市内の園児や親子約50人を招待し、伊勢神宮に献穀する米の苗を植え

ました。

この水田に献穀米の苗が植えられるのは今年で14回目。県内では唯一、同会だけの取り組みです。

当日は、約2アールの水田に園児たちの手によって「イセヒカリ」の苗が植えられました。泥だらけになりながらの田植えが楽しかったようで、水田には園児たちの笑い声が響きわたっていました。今後は、10月に収穫し、献穀を予定しています。



上から、割り箸を使って上手に苗を植える児童(鳥山小2年生)／教わりながら一生懸命に苗植え(にこにこ保育園)／真剣な様子で田植えする児童(鳥山小5年生)／園児たちによって植えられるイセヒカリ。

酒米「五百万石」の田植え

那須烏山農村都市交流促進協議会（島崎健一代表）では、5月23日（土）、今年で5年目となる「都市交流事業」を開催し、市内外から約120人が参加し、酒づくりのための田植え体験をしました。

この事業は、米作りから酒の仕込み、手すき和紙によるラベルづくりなどの体験を通して本市の豊かな自然に触れ、農村と都市の交流を促進し、特産品のPRを図ろうというものです。

当日は、大木須の水田に酒米「五百万石」の苗を植えた後、大木須古民家で「Myお猪口作り」が行われました。また、昼食は、（二社）里山大木須を愛する会のスタッフによる手作り料理が振る

舞われ、参加者は温かい料理に舌つづみを打っていました。



酒米「五百万石」の苗を植える参加者たち。

すくすく保育園児 甘いいちごに笑顔溢れる

すくすく保育園の年長・年中組の園児37人が、5月8日（金）、ふじた体験から観光いちご園で「いちご狩り」を楽しみました。

いちごの甘い香りが漂うビニールハウスの中に入ると、園児たちは、口いっぱいにはちごを頬張っていました。



いちご狩りを楽しむ園児たち。

市地域雇用創造協議会

新商品が発売されました！

厚生労働省から委託された「実践型地域雇用創造事業」に取り組む市地域雇用創造協議会が、事業拡大や創業による地域の雇用創出を目的とした新商品を開発しました。

地元銘酒を使い酒粕の風味が楽しめる醤油味の「地酒せんべい」、酒粕とチーズの相性が良い「酒粕入りチーズケーキ」龍鱗（りゅうりん）、「烏山和紙を使い自分で作るランプシェード」烏山和紙灯かり製作キット」の3商品が、市内店舗で販売されることになりました。

また、商品の取扱を希望する事業者を募集しています。希望者にはマニュアルやレシピを公開しますので、市地域雇用創造協議会 ☎ 0287-83154 までお問い合わせください。

1. 地酒せんべい
取扱店：㈱島崎酒造



2. 酒粕入りチーズケーキ「龍鱗」
取扱店：秋元菓子店



3. 烏山和紙灯かり製作キット
取扱店：烏山クラフト館





宝探しゲームに大はしゃぎの子どもたち。



毎年恒例の自転車一本橋渡り。

第3回 どろリンピック 大人も子どもも泥だらけに

横枕で5月2日(土)、横枕青年団(鈴木理一郎どろリンピック実行委員長が主催する「どろリンピック」が開催され、市内外から約300人が訪れ、ゴールデンウィークの1日を満喫しました。

今年で3回目となるこのイベントは、多くの人々に横枕の自然の素晴らしさを味わってもらい、地域活性化に生かそうと地域の若者などが開いたものです。当日は晴天に恵まれ、午前10

時から同青年団や地元自治会による模擬店がオープンし、子どもから大人まで多くの人々でにぎわいました。隣接する水田では、「イス取りゲーム」、「宝探しゲーム」、「自転車一本橋渡り」の3つの競技が行われ、参加者は全身泥まみれになりながら競技を楽しみました。また、栃木住みます芸人の上原チョーが同青年団とともに司会進行をするなどイベントを盛り上げました。

今年で結成6年目となる横枕青年団には初めて女性が4人加入しました。澤村佳奈さん(横枕)は「みなさんに横枕の良さを知ってもらえるように、団員の一人として盛り上げていきたい」と話していました。

サイクリング
で春を満喫！

春の5大ポタリングinとちぎ「ポタトレ那須烏山(ポタリングとちぎ、那須烏山市ポタリング実行委員会共催)」が、5月24日(日)、本市を会場に開かれ、市内外から79人が那須烏山市の春を感じました。

このポタリングとは、自転車散策のことで、のどかな景色を眺めながらの散策と、地元農産物などを堪能してもらおうと開かれたものです。

コースは、山あげ会館を発着点に、龍門の滝や稲積神社、ひのきやなどを巡る約20km。それぞれのエイドポイントでは、市で採れた無農薬野菜やカレーコロッケなどの試食が行われたほか、ゴール後には、市内7店舗で昼食を提供しました。



一斉にスタートする選手たち。



笑顔！(七合小運動会)。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当
☎0287-83-1112

烏山地区民俗文化奉仕協会 あやめまつりで唄や舞踊を披露

烏山地区民俗奉仕協会(川俣伸会長)では、5月24日(日)、烏山公民館で、今年で38回目を迎える高齢者・勤労者慰安チャリティショー「あやめまつり」を開き、84組が参加しました。

発表会では、同会の会員などが唄や舞踊、詩吟など日頃の練習の

成果を披露。会場には、多くの観客が訪れ、手拍子や笑い声がいつまでも響きわたり、楽しい雰囲気になりました。

なお、チャリティで集まった収益金は、すべて社会福祉協議会に寄付され、福祉の場で活用されることとなります。



日頃の練習の成果を披露。

ポタトレ那須烏山開催

埼玉県から参加した小学5年生の堺澤舞香さんは、「のぼり坂が辛かったけど、楽しかった。また来年も参加したい」と話していました。



梵天を天に振り上げる。



まぎ餅に参加するたくさんの人々。

五穀豊穰を願い

梵天奉納

五穀豊穰と雷神信仰で知られている月次の加茂神社の例大祭「梵天奉納」が5月17日(日)に行われ、大勢の見物客が集まるなか、育成会や地域の商業団体、農業団体などが梵天を奉納しました。法被姿の参加者は、根ごと掘

り起こした約10mの孟宗竹に縄が結びつけてある梵天を担ぎ、矢崎部品(株)のグラウンドを出発。約1.5kmを練り歩き、加茂神社の鳥居をくぐったところで梵天を天高く振り上げた後、約300mある表道を一気に駆け上がり奉納しました。社殿では、巫女舞やまぎ餅が行われ、境内には地域住民や子どもたちなどたくさんの人々が押し寄せました。およそ5年ぶりに訪れたという高根沢町の島田繁男さんは「好天に恵まれてよかった。人も梵天ももっと数が増えればより感動的な行事になるのではないかと話していました。」

市内で6次産業化に取り組む大野博康さん農産物を使った商品開発を進める

農産物を使った商品開発を進める

市内で唯一、6次産業化の認定を受けている大野果樹園の大野博康(大楠)さんが、農産物を使った商品を次々と開発しています。

この6次産業化とは、農業を単に農産物の生産という1次産業にとどめず、2次産業(加工)や3次産業(流通・販売)にまで踏み込むことで、自ら生産した農産物の付加価値を高め、農業の活性化につなげようとする考え方

です。

大野さんは、平成25年5月31日に認定を受け、現在は、梨を使った焼肉のタレやコンポート、4色の人参を使った人参ドレッシングなどを開発。現在、商品は、自宅や直売所などで販売しています。

加工施設も検討しているという大野さん。「今後は、さらに発展させ、ギフトなどで販売したい」と話していました。



大谷市長に商品を紹介する大野さん(右)。

七合小で一足早い運動会

七合小学校では、5月17日(日)、市内で最も早い運動会が開かれました。

当日は、多くの来賓や保護者、地域住民が見守る中、徒競走や障害物競走など白熱した戦いが繰り広げられました。



おめでた

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 吉成 春(勉・奈緒) 大金
 板橋 星(奈・純子) 初音
 小池 凌(雅・佑亮・加保莉) 岡
 岡 地(杏・慎一・美咲) 宮原
 菊 陵(介・俊行・智美) 上川
 茂 呂(翔・元・優希) 志鳥
 田 角(鳳・果・良昭・淑乃) 曲畑
 千 葉(玄・馬・英則・美幸) 曲田
 青 木(緒・豊・奈緒) 鴻野山
 山 本(蓮・心・悠人・佐知子) 金井
 西 川(綾・乃・隆史・里実) 鴻野山
 中 山(大・翔・二・浩也・裕香) 谷浅見
 高 野(廉・二・浩也・裕香) 谷浅見
 吉 葉(依・輝・夫・早苗) 曲畑
 薄 井(萌・楓・宏次・由香里) 南大和久
 久 郷(結・輝・隆治・香里) 高瀬
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●第10回那須烏山市弓道大会(4月29日、烏山弓道場)

【近的生徒の部】▽優勝…止部和葉(烏山高) ▽準優勝…五江渕拓哉(烏山高) ▽第3位…小林雄樹(烏山高)

【近的一般女子の部】▽優勝…秋元武子 ▽準優勝…高梨君子 ▽第3位…人見キヨ

【近的一般男子の部】▽優勝…津由起男

▽準優勝…塚田昌紀 ▽第3位…金子恒彦

【大乱点】▽優勝…平山智明 ▽準優勝…金子恒彦 ▽第3位…益子愛理

●第10回市民野球大会(4月12日(日)・19日(日)、烏山野球場)

▽優勝…烏山レッドSOX ▽準優勝…烏山ヤンギース ▽第3位…KSベアーズ、藤田クラブ

●第8回ガスワンカップ学童軟式野球大会支部予選会(4月12日(日)、緑地運動公園)

▽優勝…烏山クラブ ▽準優勝…七合ファイターズ

●高円宮賜杯第35回全日本学童軟式野球大会(マクドナルドトーナメント)栃木県予選会第1ブロック地区予選(4月18日(土)・19日(日)、烏山野球場・緑地運動公園)

▽準優勝…烏山クラブ

●第46回栃木県実業団剣道大会(個人戦)(4月26日(日)、河内体育館)

【男子八段以上50歳以上の部】▽優勝…菊池義夫



元気いっぱい子どもたち
(烏山小サツマイモの苗植え体験より)。

広告掲載募集中

■掲載基準

位置…各ページの最下段(表紙除く)
 サイズ…縦4.7cm×横8.4cm
 料金…単色 1回5千円
 カラー1回1万円(裏表紙)

申込…掲載希望の前月10日まで
 詳しくは、総合政策課広報統計担当 ☎0287-831112まで
 お問い合わせください。

なお、「広報お知らせ版」への広告掲載や、市ホームページへのバナー広告掲載も同時に募集しています。

“那須烏山市の中学生を応援しています”

平山塾

〈初音20-31〉
 ☎83-1915
 塾長 平山 政市

部活と学習の両立を目指す **中学1年生**
 いっしょに期末テストの準備学習を！

初めてのテストで危機感を感じたお母さんへ

歩-Ayumi-塾

できないところは**無料補講**でとことんサポート

※5月は無料補講を**約50時間**実施！

入塾金0円！個別指導なのに低価格！

詳しくは…<http://www.ayumi19.jp>

☎090-5423-4499(代表者:佐藤 諒)

大金駅から徒歩5分、足利銀行さん後ろ

安心と信頼のパートナー！

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険:GKくるま、GKすまい、新種、個人年金

◇生命保険:総合収入保障、三大疾病、女性疾病、介護

■問合 ☎321-0526 那須烏山市田野倉383

☎0287-88-9870

FAX0287-88-0234

ご寄付ありがとうございます

■ふるさと応援寄付金

・昭和59年度烏山小卒業記念実行委員会様より1万329円が寄付されました。

■図書の寄贈

・IT Support/パソコン太郎(株)(大房剛樹代表取締役)より、絵本「ばそこんたろうといたずらいぬろうくん」32冊が寄贈されました。なお、この絵本は市内の図書館及び小学校に贈られました。

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

●一般図書●

『ちょっと早めの古い支度 続』 岸本 葉子
『手編みが可愛いバッグ&ポーチ』 川路 ゆみこ
『毎日が育ジーズ!!』 石塚 ワカメ
『有機野菜はウソをつく』 齋藤 訓之
『孫物語』 椎名 誠
『偽装』 笹本 稜平
『明日の色』 新野 剛志
『晴れ女の耳』 東 直子
『過ぎ去りし王国の城』 宮部 みゆき

●児童図書●

『はるくんのおすもう』 西村 豊
『まんがなんでも図鑑』 日本漫画家協会
『パオズになったおひなさま』 佐和 みずえ
『かあさんのしっぽっぱ』 村中 李衣
『動物探偵ミア』 ダイアナ キンプトン
『鬼のおっぺけぼー』 夢枕 獏

『モモンガくんとおともだち』 ぐすのき しげのり
『クレヨンからのおねがい!』 ドリュー デイウォルト
『ぼくはうちゅうじん』 中川 ひろたか
『だいじなおとしもの』 サリナ ユーン

●CD●

『20』 家入レオ
『葡萄』 サザンオールスターズ
『ファンが選んだ北島三郎名曲選』 北島 三郎
『うきうきふなっしー』 ふなっしー
『BABYMETAL』 BABYMETAL
『REBEL HEART』 MADONNA
『GRAMMY NOMINEES2015』 Taylor Swift ほか
『ベンチャーズ ベスト』 ベンチャーズ
『子育てハッピークラシック』 加藤 知子 ほか

市の人口

2015.5.1現在
() 対前月比

人口 27,059 (-68)

男 13,342 女 13,717

出生 14 死亡 53

転入 61 転出 90

世帯数 9,595

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

編集後記

○1年に1度の梅雨の季節がやってきました。市内では、ジメジメとしたこの時期に見られる「ホタル」が続々と出沒しているようです!
○昔は家の周りにもいたけど、今はだいたい減ってきて、見れたらラッキー! みたいになってきたような? この間なんて、ラジオ(なすから情報局)を聴いていたらホタルの話題だったのですが、珍しかったのか「え〜! 天然のホタルが見れるんですか?」とパーソナリティのコメント…。
○魚とかは聞いたことがあるけど、ホタルにも養殖ってあるんだっけ? と思いながら聴いていました(笑)
○6月に入りホタルイベントが市内各地で開かれます! ちなみにラジオでは、「ホタルはブライスレス(見学は無料)」だと上司が言っていました。ぜひ、この機会に幻想的なホタルの光を楽しんでみてはいかがでしょうか?

水かさの増し春草の小舟かな 伊藤 博志(田野倉)	戻り寒また出して来るあれやこれ 杉原キミヨ(志鳥)	花衣和服でめざす町興し 水野 信一(月次)	満開の桜ふるふる忘れ雪 吉田喜枝子(興野)	俳句 齋藤 穂選	杉の棹空が揺れてる鯉幟 伊藤 功(興野)	避けられぬ現実見つめ幸とする 小堀 翠泉(中央)	うさぎ居た村を離れて住む都会 小川 昌子(向田)	新しい時世スマホに追いつけず 須田 孝子(城東)	川柳 篠崎 酔月選
-----------------------------	------------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------	-------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------

作品募集

毎月10日までに、総合政策課広報統計担当
(〒321-1069 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

の玉こまごま光る 川手 トヨ(金井)	開き初めしりんごの花の薄紅に朝露 柳 つしま(中央)	宇都宮線二時間の中で本を読み少し まどろみたまに歌詠む 柳 つしま(中央)	雨風に耐えて道の辺に名も知らぬ可 憐な草花ひたすら咲きおり 矢口 玄鳥(大金)	貧を背負うた昔なつかし 鈴木 豊(谷浅見)
-----------------------	-------------------------------	---	---	--------------------------

短歌

福澤 悦子選

文芸

170人の子どもたち 古代米の田植え体験

七合会(木村保司会長)と大桶地域みどり保全会(木村義二会長)では、大桶下地内の田んぼで、5月24日(日)、古代米の田植え体験を行い、若鮎クラブやボーイスカウト、地域の子どもたちなど市内外から約170人が参加しました。

これは、自然に触れ合える昔ながらの手植えなどを体験することで、子どもたちに日本の伝統文化を学んでもらおうと開いている「どろんこ田んぼ体験事業」の一環です。



古代米の苗を丁寧に植える子どもたち。



泥だらけになったニジマスのつかみ取り。

子どもたちは、苗の植え方を聞いた後、足場の悪さに悪戦苦闘しながらも一生懸命に古代米の苗を植えていました。体験後には、那珂川中央漁業協同組合の協力により、ニジマス約250匹が提供され、子どもたちは泥だらけになりながら、魚のつかみ取りを楽しんでいました。

昼食には女性スタッフから、古代米のおにぎりや豚汁などが振舞われ、手作りの料理に舌つづみを打っていました。

小木須の川俣さん 40年間育ち続けたバラ

小木須の川俣公庸さん宅のモッコウバラが5月初旬に見ごろを迎えました。

40年前に知人から譲り受け、育ち続けたこの黄色いバラは年々大きくなり、現在では縦8m、横6mもの大きさに…。満開となるのはゴールデンウィーク付近の約3週間で、毎年見事に咲き誇っています。

川俣さんは、「せっかくなのでできるだけ多くの人たちに見てほしい。来年はさらに大きくなると思うので楽しみです」と笑顔で話していました。



江川の上を優雅に泳ぐこいのぼり。

江川の環境美化などに取り組む、神流会(星雅信代表)では、4月11日(土)から5月14日(木)までの間、神長地域を流れる江川に「こいのぼり」を設置しました。期間中は、一目見ようと車を止めて眺める人や、カメラマンでにぎわいました。

江川に泳ぐこいのぼり

有料広告

大金駅前観光交流施設

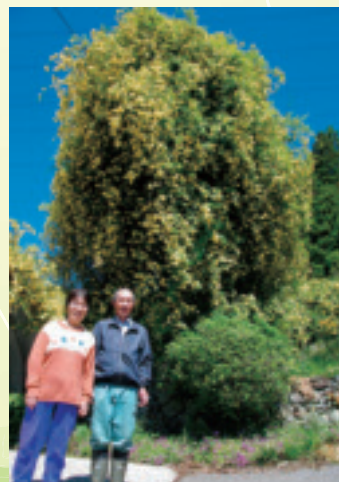
2015 4/18
大金駅前に
OPEN

大カマ市場

生鮮野菜
加工食品
工芸品
ハンドメイド雑貨

出品者様募集 商品陳列料 **無料**
WEB掲載料 **無料**
売り上げの一部を学費料としていただきます。

お申込み
お問い合わせ ☎ **0120-83-1147** 作家作品
もあるよ!



川俣さんご夫妻
と巨大なモッコ
ウバラ。